

毛様細胞性星細胞腫（Pilocytic astrocytoma）の MRI 所見に関する後ろ向き研究

・はじめに

毛様細胞性星細胞腫（もうようさいぼうせいせいさいぼうしゅ、以下 PA）は、子どもの脳によくできる良性の腫瘍（しゅよう）です。腫瘍が良性なのか？悪性なのか？を検査するために、造影剤（ぞうえいざい）を使用した MRI 検査が行われます。造影剤を使用した MRI 検査では、悪性のものは非常に白く写りますが、良性のものはあまり白くなりません。しかし、PA は非常に白く写ることがあり、悪性の腫瘍であるハイグレード神経膠腫（しんけいこうしゅ）と区別するのが難しいことがあります。PA の発現率は低く、いろいろな写り方をすることがあるため、MRI 検査の写真をたくさん集め、その写り方を調べて、特徴的な写り方を明らかにすることは、今後の診断の正確さをより高くするために重要になってきます。

・対象

2004 年 1 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日までに、九州大学病院において手術の前に造影剤を使用した MRI 検査をした PA もしくはハイグレード神経膠腫の患者さんを対象とします。

この研究は、当院を中心とした全国 10 施設で行われ、300 名の患者さんを対象とします。当院では約 30 名を対象に致します。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

・研究内容

この研究では、これまでに行われた MRI 検査およびカルテの情報を用い、PA とハイグレード神経膠腫で写真での見え方にどのような違いがあるのかを調べます。調べる項目は、患者さんの性別、年齢、家族歴、MRI 検査および手術の情報です。

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な検査や治療が生じることはありません。

・個人情報の管理について

個人情報が漏れないようにするため、九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学分野においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

本研究で得られた情報を別の研究に利用する場合は、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認を受けた上で利用致します。

・研究期間

研究を行う期間は承認日より 2016 年 6 月 30 日まで

・医学上の貢献

この研究に協力していただいた患者さんが直接受ける利益はありませんが、研究成果は、将来、脳腫瘍の患者さんのより正確な診断に役立ち、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・研究機関

研究責任医師：九州大学大学院医学研究院 臨床放射線科学分野・教授・本田 浩

研究分担医師：九州大学病院・放射線部・助教・樋渡 昭雄

九州大学病院・放射線科・助教・梅尾 理

九州大学病院・放射線科・助教・山下 孝二

九州大学大学院医学研究院 臨床放射線科学分野・大学院生・菊地 一史

九州大学病院・脳神経外科・講師・溝口 昌弘

九州大学病院・脳神経外科・講師・吉本 幸司

九州大学大学院医学研究院・脳神経外科・教授・飯原 弘二

九州大学大学院医学研究院・病態制御学講座・准教授・鈴木 諭

九州大学大学院医学研究院・病態制御学講座・教授・岩城 徹

共同研究機関（予定）：

候補施設一覧（予定）				
2014年7月31日時点			（敬称略）	
	施設名	診療科	責任医師名	担当医師名
1	山形大学	画像医学講座	細矢 貴亮	鹿戸 将史
2	順天堂大学医学部附属練馬病院	放射線科	尾崎 裕	尾崎 裕
3	大阪大学	放射線医学講座	富山 憲幸	渡邊 嘉之
4	奈良県立医科大学	放射線医学教室	吉川 公彦	田岡 俊昭
5	兵庫医科大学	放射線医学教室	廣田 省三	石藏 礼一
6	徳島大学	放射線科学	原田 雅史	原田 雅史
7	鳥取大学医学部	病態解析医学講座 画像診断 治療学分野	小川 敏英	小川 敏英
8	九州大学大学院医学研究院	臨床放射線科学分野	本田 浩	樋渡 昭雄
9	久留米大学	放射線医学講座	安陪 等思	内山 雄介
10	熊本大学大学院生命科学研究部	放射線診断学分野	山下 康行	北島 美香
11	鹿児島大学大学院医歯学総合研究 科	放射線診断治療学	吉浦 敬	吉浦 敬

連絡先担当者：九州大学病院・放射線部・助教・樋渡 昭雄

電話：092-642-5695（平日 8:30～17:15）

092-642-5695（夜間・休日）

E-mail：hiwatasi@radiol.med.kyushu-u.ac.jp